

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL 03-3714-0552 FAX 03-3714-2571 E-mail info@artphoto-site.com

報道各位

2013年12月吉日

ブライアン・ダフィー写真展 「DUFFY... PHOTOGRAPHER」

(ダフィー・フォトグラファー)

2014年 1月24日(金)～ 2014年3月29日(土)

1:00PM～6:00PM/ 休廊 日・月曜日 / 入場無料

ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 TEL 03-3714-0552
JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

ブリッツ・ギャラリーはブライアン・ダフィー(1933-2010)の写真展「DUFFY... PHOTOGRAPHER」(ダフィー・フォトグラファー)を2014年最初の写真展として開催いたします。ダフィーは60～70年代に活躍した英国人ファッション写真家です。彼は、デビット・ベイリー、テレンス・ドノヴァンとともに60年代スウィング・ロンドンの偉大なイメージ・メーカーであるとともに、モデルと同様に有名なスター・フォトグラファーでした。彼らはそれまで主流だったスタジオでのポートレート撮影を拒否し、ドキュメンタリー的なファッション写真で業界の基準を大きく変えた革新者でした。彼らこそは、いまでは当たり前のストリート・ファッション・フォトの先駆者たちだったのです。当時のザ・サンデー・タイムズは彼らのことを「Terrible Trio(ひどい3人組)」、有名写真家ノーマン・パーキンソンは「The Black Trinity(不吉な3人組)」呼んだそうです。

ダフィーのキャリアは、ザ・サンデー・タイムズの仕事から始まります。その後1957～1963年まではブリティッシュ・ヴォーグ誌で仕事を行い、ジーン・シュリンプトンなどを撮影しています。60年代はフランスのエル誌など英国以外の雑誌、新聞で活躍します。彼は、この時代を代表する、シドニー・ポワチエ、マイケル・ケイン、トム・コートニー、サミー・デイヴィス・ジュニア、ニーナ・シモン、ジョン・レノン、ポール・マッカートニー、チャールストン・ヘストン、ウィリアム・バロウズ、ブリジッド・バルドーなどのセレブリティを撮影。

70年代以降では、デヴィッド・ボウイの1974年アルバム「アラジン・セイン(Aladdin Sane)」のジャケット写真や、ベンソン&ヘッジス、スミノフの広告キャンペーン、2度に渡るピレリ・カレンダー(1967年、1973年)の仕事で知られています。2013年夏、ロンドンのヴィクトリ&アルバート美術館で開催されたデヴィッド・ボウイの回顧展「David Bowie is」では、メイン・ヴィジュアルに「アラジン・セイン」のボウイが目を開いたアザーカットが使用されてダフィー人気再燃しました。

1979年にダフィーは写真を止め、スタジオ裏庭で多くのネガを燃やしてしまいました。しかし、2006年から息子のクリス氏がダフィーの資料精査を開始。幸運にも全てのネガが消失したわけではないことが判明。新たに多くのネガが再発見されたことでダフィー作品の写真集化が2011年に実現しました。その後、60年代に活躍したベイリー、ドノヴァンに次ぐ第3の男として再注目され、写真展も世界中で数多く開催されています。日本初となる本展ではファッション、ポートレート、デヴィッド・ボウイのシリーズからのベスト作品約40点を展示予定。いずれも60年代～70年代の気分や雰囲気を楽しめる作品群です。展示されるのは作家の意思を受け継いだ息子クリス氏が運営するダフィー・アーカイブから提供されるエステート・プリント作品です。

ぜひご覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願いいたします。

・お問い合わせ先 ブリッツ・ギャラリー TEL 03-3714-0552

写真展の情報・画像はウェブサイト http://www.artphoto-site.com/inf_press.html でご覧いただけます。